

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 19日

（報告先）
横浜市長

住所 横浜市鶴見区安善町2-1
氏名 EMGルブリカンツ合同会社
鶴見潤滑油工場 工場長 大木 智子
（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	EMGルブリカンツ合同会社 社長 小池 健一					
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市鶴見区安善町2-1					
主たる事業の業種	大分類	E 製造業				
	中分類	17 石油製品・石炭製品製造業				
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）				
	原油換算エネルギー使用量	1,987	kl	自動車の台数		台

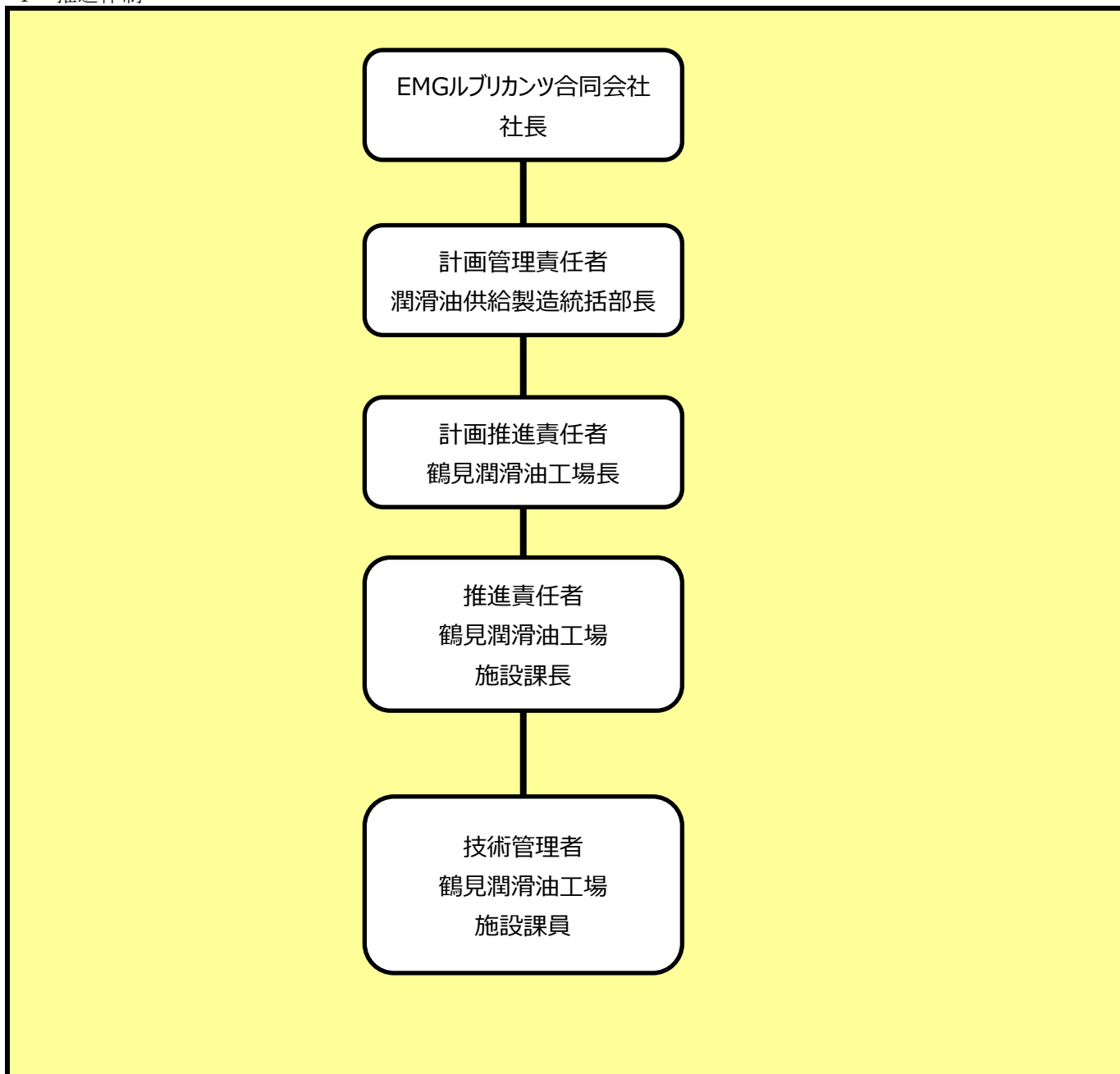
2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針]</p> <ol style="list-style-type: none">環境関連法令順守事業活動における環境保全の推進低炭素社会形成への貢献循環型社会形成への貢献 <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討]</p> <p>①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備： ・小型貫流ボイラー</p> <p>②上記①の設備を選択した理由： ・エネルギー消費の大きい設備の為。</p> <p>③設備更新スケジュール： 令和4(2022)年12月</p>
--

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	EMGルブリカンツ合同会社 鶴見潤滑油工場 第5会議室
	所在地	横浜市鶴見区安善町2-1
	閲覧可能時間	9時～16時(12時～13時は除く)
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	3,872	t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	3,855	t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	3,640	t-CO ₂	削減率	6.0 %	削減率		%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	基準排出量に対して、年間2%減を目標とする。 ボイラー稼働時間の短縮、照明設備のLEDへの切り替え、厨房エネルギー源の変更(LPガス→都市ガス)を柱とし、地球温暖化対策を推進する。								
事業者全体としての目標等									
第一年度 (2016年度)	排出量	4,078	t-CO ₂	削減率	▲ 5.3 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	4,024	t-CO ₂	削減率	▲ 4.4 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	低燃費車用の潤滑油の需要が伸びてきており、この製品の製造においては、製品製造前に、高温で添加剤を溶解する工程があり、他の製品製造よりもエネルギーを要するため、エネルギー消費が増加傾向となっている。 ・使用しない部屋等の照明の消灯等。 ・エアコンの設定温度の変更や運転時間のコントロール。 ・照明器具の省エネ器具への切り替え。								
第二年度 (2017年度)	排出量	4,058	t-CO ₂	削減率	▲ 4.8 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	3,965	t-CO ₂	削減率	▲ 2.9 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	低燃費車用の潤滑油の需要が伸びてきており、この製品の製造においては、製品製造前に、高温で添加剤を溶解する工程があり、他の製品製造よりもエネルギーを要するため、エネルギー消費が増加傾向となっている。 ・使用しない部屋等の照明の消灯等。 ・エアコンの設定温度の変更や運転時間のコントロール。 ・照明器具の省エネ器具への切り替え。								
第三年度 (2018年度)	排出量	3,946	t-CO ₂	削減率	▲ 1.9 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	3,946	t-CO ₂	削減率	▲ 2.4 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	低燃費車用の潤滑油の需要が伸びてきており、この製品の製造においては、製品製造前に、高温で添加剤を溶解する工程があり、他の製品製造よりもエネルギーを要するため、エネルギー消費が増加傾向となっている。 ・使用しない部屋等の照明の消灯等。 ・エアコンの設定温度の変更や運転時間のコントロール。 ・照明器具の省エネ器具への切り替え。								
計画期間全体の排出状況に関する説明	低燃費車用の潤滑油の需要が伸びてきており、この製品の製造においては、製品製造前に、高温で添加剤を溶解する工程があり、他の製品製造よりもエネルギーを要するため、エネルギー消費が増加傾向となっている。								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂				t-CO ₂ /	
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満	1	3,872	1	4,078	1	4,058	1	3,946
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満								
合計	1	3,872	1	4,078	1	4,058	1	3,946

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度										
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	該当設備無し		非該当	/	—	年度	該当設備無し		非該当	/	—	年度	該当設備なし		
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	未実施	非該当	/	—	年度	該当設備無し		非該当	/	—	年度	該当設備無し		非該当	/	—	年度	該当設備なし		
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2018年度		負荷率の算出のみ未実施	実施中	0/1	—	2018年度		負荷率の算出のみ未実施	実施中	0/1	—	2020年度		負荷率の算出のみ未実施	
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	地下駐車場はありません。		非該当	/	—	年度	地下駐車場はありません。		非該当	/	—	年度	地下駐車場はありません。		
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	0/1	—	2018年度		順次LEDへ切替中	実施中	0/1	—	2018年度		順次LEDへ切替中	実施中	0/1	—	2020年度		順次LEDへ切替中	
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			
	15	機器性能管理	設備	実施中	実施済	(設備の種類)ボイラー 5/5	—	年度		冷凍機を撤去したため	実施済	(設備の種類)ボイラー 5/5	—	年度		冷凍機を撤去したため	実施済	(設備の種類)ボイラー 5/5	—	年度			
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施済	非該当	(設備の種類) /	—	年度	冷凍機撤去		非該当	(設備の種類) /	—	年度	冷凍機撤去		非該当	(設備の種類) /	—	年度	冷凍機撤去		
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)ボイラー 5/5	—	年度			実施済	(設備の種類)ボイラー 5/5	—	年度			実施済	(設備の種類)ボイラー 5/5	—	年度			
	18	排出ガス温度の管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)ボイラー 5/5	—	年度			実施済	(設備の種類)ボイラー 5/5	—	年度			実施済	(設備の種類)ボイラー 5/5	—	年度			
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施中	実施中	(設備の種類)バルブ 0/5	—	2018年度		保温設置検中	実施中	(設備の種類)バルブ 0/5	—	2018年度		保温設置検中	実施済	(設備の種類)バルブ 5/5	—	年度		保温設置完了	
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	工業炉はありません		非該当	(設備の種類) /	—	年度	工業炉はありません		非該当	(設備の種類) /	—	年度	工業炉はありません		
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施済	実施済	(設備の種類)コンプレッサー 3/3	—	年度			実施済	(設備の種類)コンプレッサー 3/3	—	年度			実施済	(設備の種類)コンプレッサー 3/3	—	年度			
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)コンプレッサー 3/3	—	年度			実施済	(設備の種類)コンプレッサー 3/3	—	年度			実施済	(設備の種類)コンプレッサー 3/3	—	年度			

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度										
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度		
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度		
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

（注意事項） ・対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		37.22 %		3,946		6,798.1		5,329.5		1,469					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	油炊きボイラーからガス炊きボイラーに変更。	鶴見潤滑油工場	2007	・日曜・祝日・社休日を除き、2時～18時まで運用。 ・油炊きボイラー10台。	灯油	1,698	k l	4227.1	・4時～20時まで運用 ・ガス炊きボイラー5台。	都市ガス	1,210	千m3	2,775.1	1,452.0	85,000 千円
2	22kWエアコンプレッサーのインバーター付への更新	鶴見潤滑油工場	2013	・日曜・祝日・社休日を除き、7時～20時まで運用。 ・22KWエアコンプレッサー 1台。	昼間買電		k Wh	0.0	・日曜・祝日・社休日を除き、7時～21時まで運用。 ・22KW インバーター付エアコンプレッサー 1台。	昼間買電		k Wh	0.0	0.0	6,000 千円
3	37kWエアコンプレッサーを熱回収式コンプレッサーへ更新	鶴見潤滑油工場	2018	・日曜・祝日・社休日を除き、7時～20時まで運用。 ・22KWエアコンプレッサー 1台。	都市ガス	1,121	千m3	2571.0	・日曜・祝日・社休日を除き、7時～20時まで運用。 ・37KWエアコンプレッサー 1台。	都市ガス	1,114	千m3	2,554.3	16.7	1,070 千円
															千円
															千円

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	0	JXTGエネルギー(株)
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	廃棄物の削減。
計画期間内に実施する対策	
第一年度実績	・廃棄物の排出量の把握及び削減に係る対策
第二年度実績	
第三年度実績	・廃棄物の排出量の把握及び削減に係る対策

14 実施状況等に対する自己評価

月に一度、建屋点検を実施。 設備の新設や更新の際には、エネルギー使用量が少なくなるような設備の採用を常に検討している。 2007年度には、ボイラーの更新において大幅な削減を達成。 本年度熱回収式コンプレッサー設置した。 2022年度に予定しているボイラー更新においても、高効率のボイラー導入を検討している。
